

研究者の横顔			
フリガナ	カトウ フミノ		
お名前	加藤 芙美乃	助成金額	50 万円
ご所属	藤田医科大学医学部 先端ゲノム医療科		
研究テーマ	遺伝性腫瘍症候群における血縁者への情報共有の阻害・促進因子の解明と支援体制の構築		
1：研究者になろうとしたきっかけ			
<p>これまで認定遺伝カウンセラーとして、遺伝とがんに関するさまざまな相談に対応してきました。遺伝性腫瘍症候群の方々からお話を伺う中で、「家族と遺伝について話すこと」の背景にあるさまざまな想いや葛藤に触れてきました。こうした経験から、遺伝性腫瘍症候群とその家族の方々に対して、医療者としてできることはないかを考えるようになり、研究に取り組むようになりました。</p>			
2：助成研究の内容紹介			
<p>遺伝性腫瘍症候群の方は生まれつきもつ遺伝子の特徴によってがんになりやすい体質を持っています。なりやすさに応じた検査などを早期から行うことで、がんの早期発見・早期治療につなげることができます。血縁者も同じがんのなりやすさを持つ可能性があります。血縁者への情報共有が当事者に任されている現状があります。本研究では、血縁者への情報共有や血縁者の受診が進む・進まない理由を明らかにし、その結果を踏まえて、どのような支援が医療者にできるかを考えます。</p>			
3：2の将来に繋がる結果予想・目標			
<p>本研究の成果から、血縁者への遺伝に関する情報共有を支援する体制や仕組みを作りたいと考えています。遺伝性腫瘍症候群の方とその家族が遺伝に向き合うきっかけを増やし、それぞれの遺伝情報を活かした健康管理につながることを目指しています。</p>			
4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ			
<p>この度は本研究課題を採択いただき心より感謝申し上げます。本研究成果をいち早く社会へ還元できるよう尽力してまいります。</p>			